令和５年度　　**英語コミュニケーションⅡ**　　11　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選　択	4	12	16	2

教　科　書	学習書・副教材等
All Aboard！ English Communication Ⅱ（東京書籍）	学習書：*All Aboard! English Communication Ⅱ*（NHK 出版）

学　習　目　標

英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに，幅広い話題について，聞いたことや読んだことを的確に理解したり，情報や考えなどを伝えたりする基礎的な能力を育成する。

単元名・教　材	学　習　活　動	評　価　方　法	
Pre-Lesson My Plans for This Year	今年やってみたいことについて書く。	第１回レポート	前期試験範囲
Lesson 1　A Colorful Island	海外で行ってみたい場所について書く。		
Lesson 2　With the Beatles	あなたの好きな人物について書く。	第２回レポート	
Lesson 3　Wild Men	身近な行事について書く。	第３・４回レポート（合併号）	
Extra Target 1　ずっと～し続けています	過去から継続している動作について書く。		
Lesson 4　Little Hero	自分の好きな物語について考えを書く。	第５回レポート	
Lesson 5　Special Makeup in Kabuki	日本の伝統文化について書く。	第６回レポート	
Lesson 6　Seeds for Future Generations	地元で有名な場所やものについて書く。	第７回レポート	後期試験範囲
Lesson 7　Over the Wall	世界の人々と交流する方法について書く。	第８回レポート	
Lesson 8　Inspiration from Nature	自然界のデザインをヒントにした商品について書く。	第９・10 回レポート（合併号）	
Extra Target 2　〇〇ならいいのに…	実現できそうにない願望について書く。		
Lesson 9　The Bitter Truth behind Chocolate	社会的な問題について書く。	第 11 回レポート	
Lesson 10　Fighting Angel	人を助ける職業について書く。	第 12 回レポート	

学　習　方　法

《レポート》英語の様々な表現を学びます。レポートの問題は，教科書や学習書をよく読み，必要に応じて辞書を使いながらすすめましょう。指示をよく読んで，計画的に取り組んでください。

《授業》授業では，レポートの問題をいくつか取り上げて解説します。授業を受ける前にレポートの問題をやって疑問点などを確認しておきましょう。

《平日スクーリング》普段の授業ではできない英語でのコミュニケーション活動や異文化に触れる講義を受講して英語の楽しさや面白さを実感してください。

《放送視聴》指定された番組を聴いて，放送内容をレポート冊子の巻末にある放送視聴報告書にまとめます。レポートに添付して提出，合格すれば義務時数の代替になります。１回の提出につき報告書２枚の添付が可能です。レポート作成の参考になる内容も多いです。上手に学習に取り入れてみましょう。

《試験》レポートの学習内容を確認する問題を出題します。レポートの内容をきちんと復習して受験しましょう。

評　価　方　法

レポートの提出状況，スクーリングの出席状況，定期考査の成績を総合して評価します。
レポートの評価は次の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声、語彙・表現、文法を、４技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身につけようとしている。	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしようとしている。	外国語の学習を通して，言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

担当者より一言

レポートの作成を通して，教科書の内容をしっかりと理解できるようにしましょう。NHK の高校講座を聴いたり，授業に出席したりして，英語の発音やリズムに慣れ親しんでください。